

各 位

平成 16年 11月 5日

会 社 名
コード番号
問合せ先

株式会社 J-オイルミルズ
2613
取締役兼常務執行役員業務部長
椋田 純和
TEL (03) 5148 - 7100

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年5月21日の決算発表時に公表した平成17年3月期(平成16年 4月1日 ~ 平成17年3月31日)の中間業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成17年3月期中間業績予想数値の修正(平成16年4月1日 ~ 平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	51,000	1,200	750
今 回 修 正 予 想 (B)	42,600	670	650
増 減 額 (B-A)	△ 8,400	△ 530	△ 100
増 減 率 (%)	△ 16.5	△ 44.2	△ 13.3
(ご参考) 前期(平成16年3月期中間)実績	920	341	339

※前期の数値は持株会社としての(株)J-オイルミルズの決算数値であり、平成16年7月1日に合併した各事業会社の数値を含んでおりません。

2. 平成17年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成16年4月1日 ~ 平成16年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	101,000	2,100	1,100
今 回 修 正 予 想 (B)	91,700	1,250	980
増 減 額 (B-A)	△ 9,300	△ 850	△ 120
増 減 率 (%)	△ 9.2	△ 40.5	△ 10.9
(ご参考) 前期(平成16年3月期中間)実績	88,879	271	59

3. 理 由

①連結業績

当中間期は、配合飼料における大豆粕需要が不振であったことで、油糧製品(ミール類)の販売金額が予想に対し減少したことを主要因に売上高が減少いたしました。

また、シカゴ大豆相場の中間期末にかけての急落により、原材料の評価減(低価法:期末時価と在庫との価格差)が利益を圧迫いたしました。

以上のことから、売上高、経常利益、および当期純利益を下方修正いたします。

ただし、この原材料評価減は平成17年3月までに同額、利益として振り戻します。通期業績には影響ありません。

②単独業績

当中間期の業績予想修正は、主として連結業績修正と同様の理由によるものであります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。